

北海道十勝川中流部における
タンチョウとの共存
—市民活動とアンケートからの考察—



帯広畜産大学野生動物管理学研究室

はじめに

タンチョウ (*Grus japonensis*)

釧路・阿寒

湿原の減少＋個体数増加
過密化 生息地の拡大



十勝

十勝川河口から中流部に生息
更に上流へ分散途中



本研究の目的

十勝川中流部で成功
市民団体による生息地誘導
(タンチョウ給餌場設置)



目的

- ・地元住民はタンチョウの生息地拡大に期待しているか
 - ・期待に影響する要因はあるのか
- ・地元住民は保全活動への協力する意向があるのか

十勝における人とタンチョウの関係



観光業にとっては有益？

- 十勝川温泉で観光業従事者にアンケート



農業にとっては有害？

- 十勝川中流部の農家で聞き取り



利害関係のない一般の人は？

- 畜大の学生と市民にアンケート

観光業者へのアンケート結果

- 60枚配布して27枚回収(45%)

十勝川温泉のホテル12人、エコパーク4人、観光協会11人

タンチョウを目撃した経験:19/27人(70%)

このうち十勝川温泉周辺での目撃が13人

タンチョウを目撃した観光客の反応:6/27人(22%)

驚く・喜ぶ(4人)、写真を撮る(3人)

タンチョウに関する希望・感想

タンチョウの個体数増加を観光の活性に繋げたい

農業従事者へのアンケート結果

- 十勝川温泉周辺の全17戸を訪問

うち音更町7件、池田町5件から回答(80%)

このうちタンチョウによる被害を回答したのは1件(8%)

タンチョウに関する感想としては

豊かな自然の象徴(5人)、姿が美しい(5人)

タンチョウの生息地が増える事を期待する(5人)

タンチョウの生息地が増える事には問題がある(3人)

タンチョウよりも他の動物の被害が気になる(7人)

方 法

畜大アンケート

- 実施日 2014年7月23日
- 場 所 帯広畜産大学 I 号館
講義「北海道の自然と生物」中実施
- 対 象 学生及び聴講生(150人)
- 目 的 1年が多く受講する講義であるため
主に出身地別の違いを調べる
- 記入法 自記式 講義中に配布し記入を依頼

質問項目の構成(畜大)

出身地等

- 学年
- 性別
- 出身地(道内・道外)

経 験

- 野生のタンチョウをみたことがあるか

関 心

- 外見からタンチョウの見分けはつくか
- 絶滅寸前になったことを知っているか
- 十勝管内に生息していることを知っているか

市民アンケート

- ・実施日 2014年12月23日
- ・場 所 十勝プラザ「畜大ふれあいフェスティバル」
- ・対 象 一般市民(95人)
- ・目 的 一般市民の生息地**拡大の期待**及び生息地に関する**市民活動への協力意向**を調べる
- ・記入法 自記式 声をかけて記入を依頼

質問項目の構成(市民)

目撃

居住地等

タンチョウ
への関心

社会的関心

- 地域経済
- 環境問題
- 野生動物

に
関心
が
あ
り
ま
す
か

文化的サービス

- 豊かな自然の象徴
- 観光資源の価値
- 姿が美しい等(複数回答可)

質問項目の構成(市民)

生息地が増えればいい



保全活動の
協力意向

- ・生息地づくりの市民活動
- ・学びや遊びから生息地保全
- ・生息地保全のための募金・基金

クロス集計

2つ以上の質的変数を組み合わせ同時集計
変数間の関連を調べる
(例)

列: 応答変数

		はい	いいえ	計
説明変数	男	20 (40%)	30 (60%)	50 (100%)
	女	10 (40%)	15 (60%)	25 (100%)

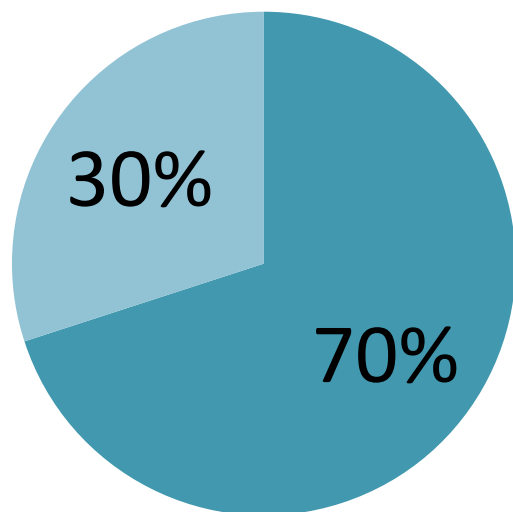
- 帰無仮説
「データは項目毎に偏ることなく分布する(統計的に独立)」

結果と考察

70%以上 「生息地が増えたらいいと思う」

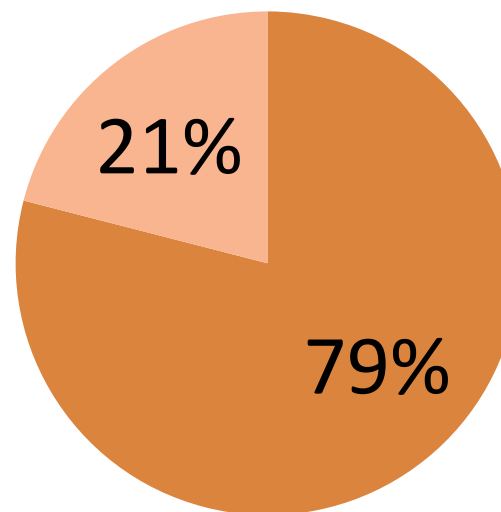
畜大

- 生息地が増えればいいと思う
- そうは思わない



市民

- 生息地が増えればいいと思う
- そうは思わない



期待に影響する要因(畜大)

出身地等

- 学年
- 性別
- 出身地(道内・道外)

経 験

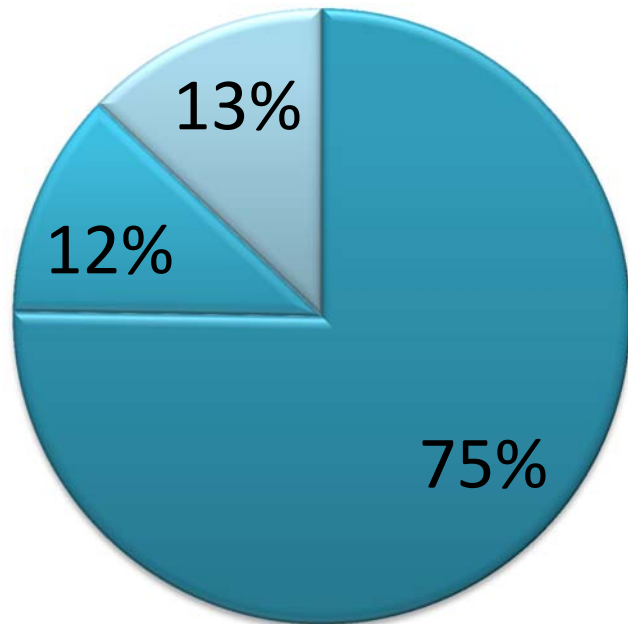
- 野生のタンチョウを見たことがあるか

関 心

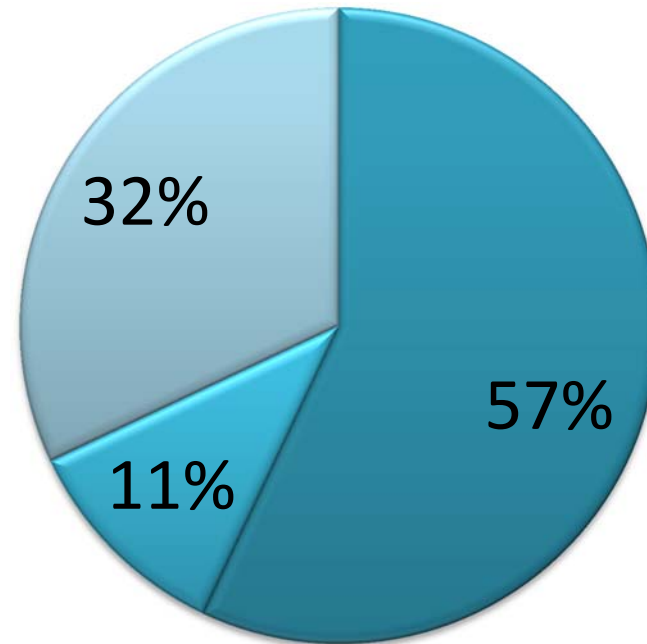
- 外見からタンチョウの見分けはつくか
- 絶滅寸前になったことを知っているか
- 十勝管内に生息していることを知っているか

「絶滅寸前になったのを知っている」と
「生息地が増えればいいと思う」(畜大)

かつて絶滅寸前になったのを知っている



知らない



- 生息地が増えればいいと思う
- そうは思わない
- わからない

期待に影響する要因(市民)

目撃

居住地等

タンチョウ
への関心

社会的関心

- 地域経済
- 環境問題
- 野生動物

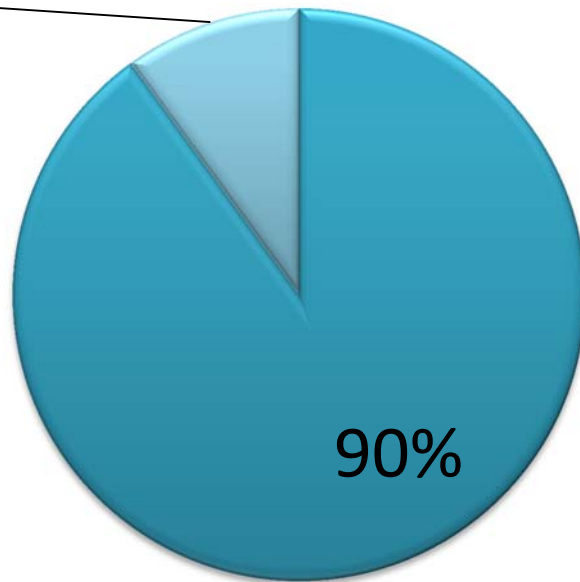
に
関心
が
あり
ます
か

文化的サービス

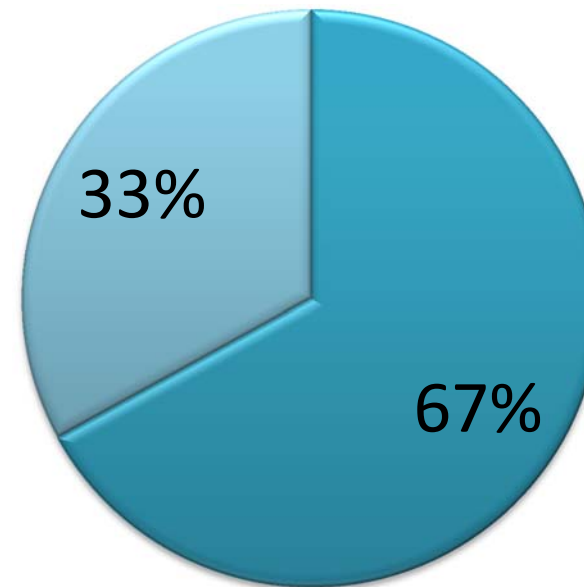
- 豊かな自然の象徴
- 観光資源の価値
- 姿が美しい等(複数回答可)

タンチョウをどのように思っていますか？
「豊かな自然の象徴」を選択する人は
生息地が増えればいいと思う傾向

10% 「豊かな自然の象徴」を選択

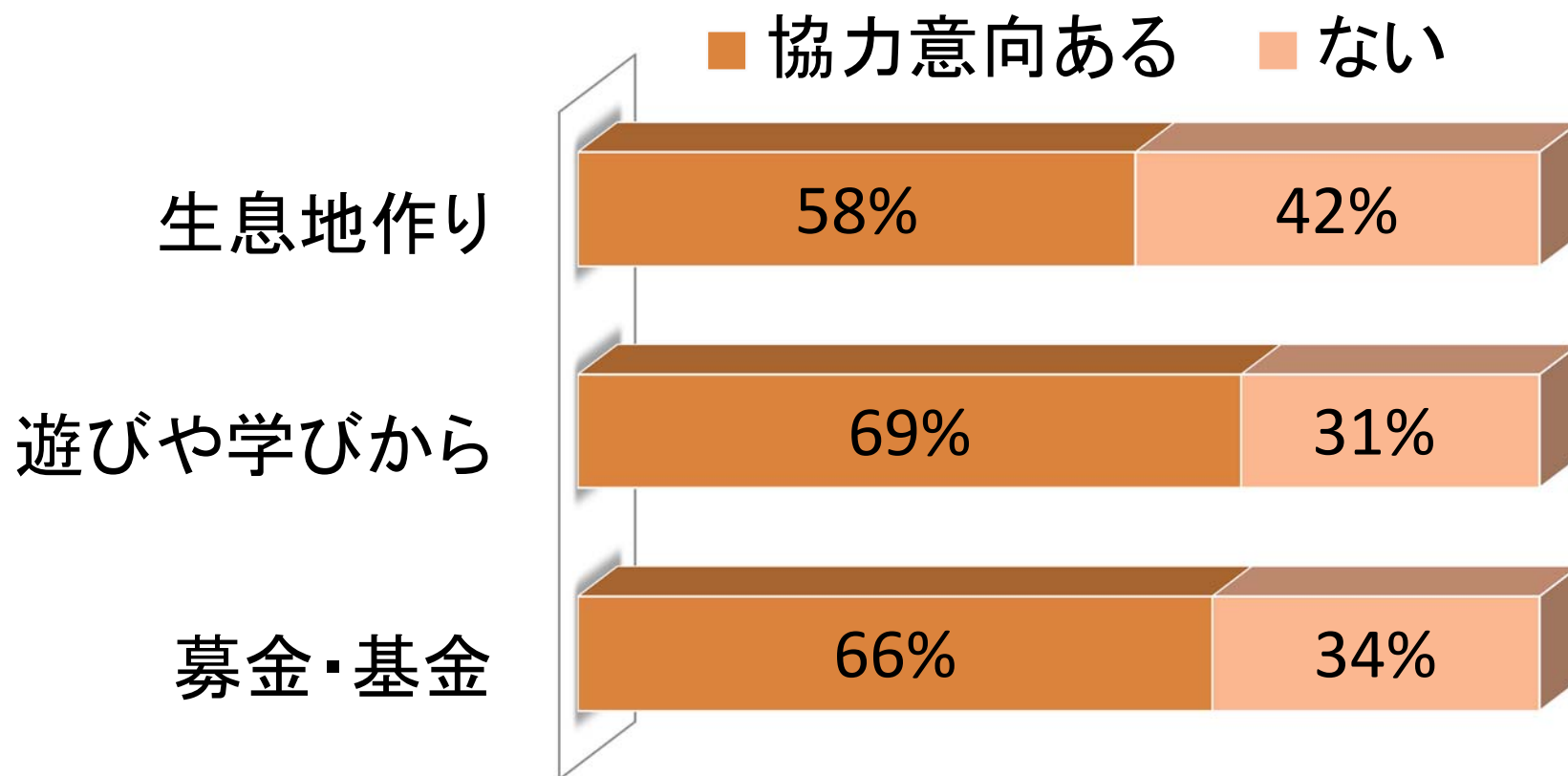


選択しない



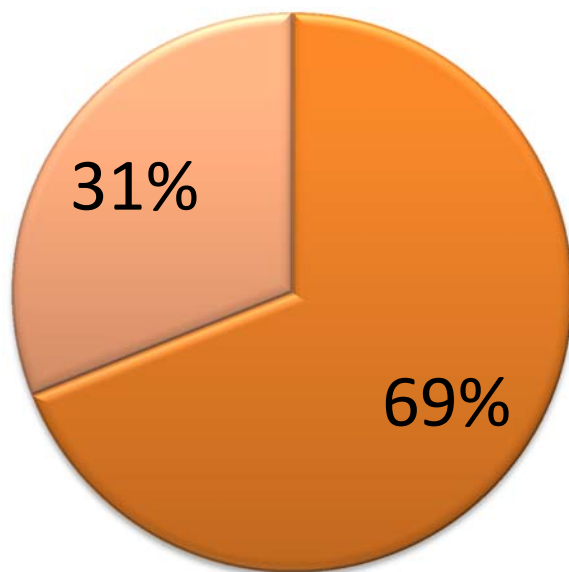
- 生息地が増えればいいと思う
- そうは思わない

約60%以上が保全活動協力あり

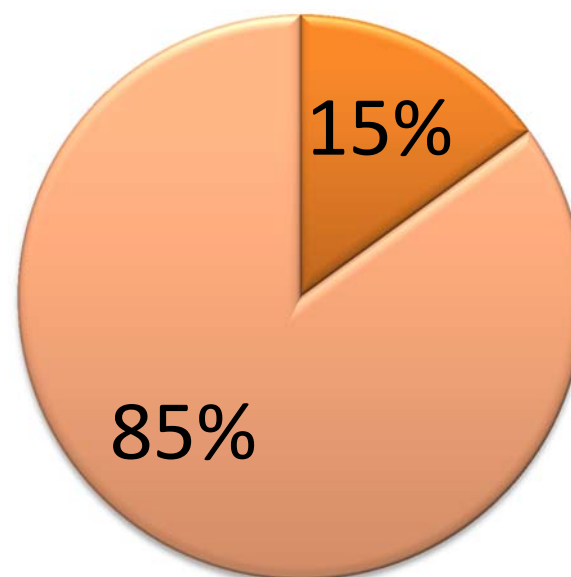


生息地が増えればいいと考える住民は 保全活動の協力へも積極的

生息地が増えればいい



そうは思わない



- 協力意向ある
- 協力意向ない

結果と考察

バイアス

畜大生・生物に関心

市民・教育に関心

見かけ上の相関

本当の原因？



知識

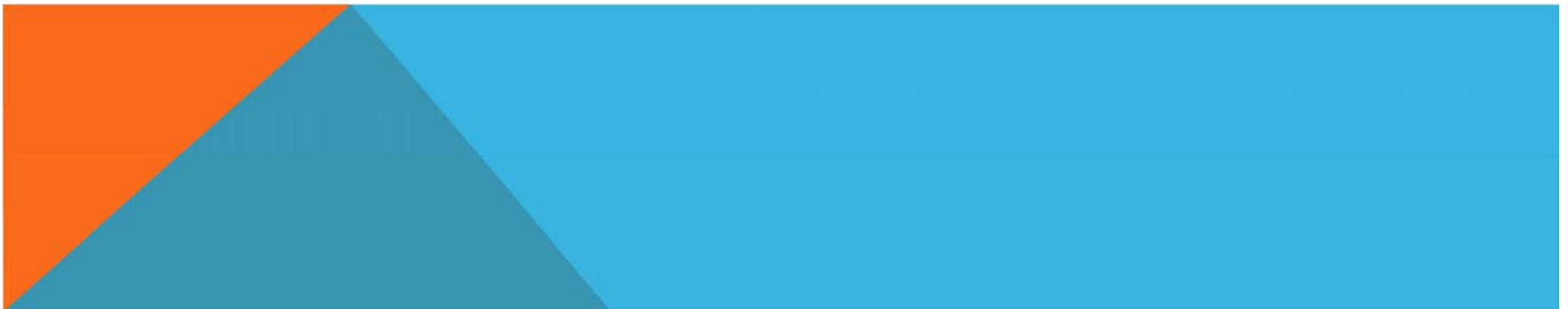


期待

まとめ

タンチョウの生息地拡大に期待

- ✓ 畜大アンケート **70%**
- ✓ 市民アンケート **79%**



期待に影響する要因

畜大アンケート

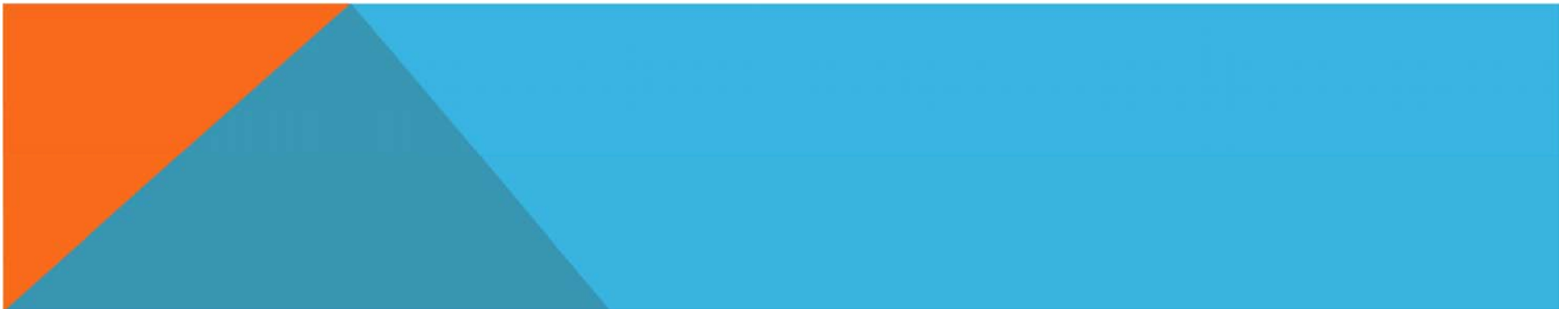
✓ 知識の有無

(絶滅寸前になったことを知っている人はより肯定的)

市民アンケート

✓ 人が受け取る文化的サービスの種類の違い

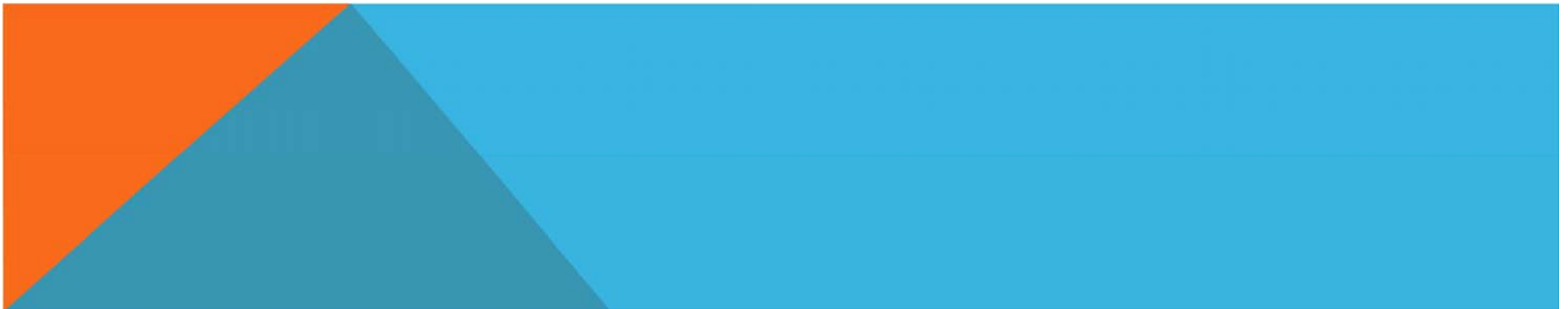
(「豊かな自然の象徴」を考える人はより肯定的)



保全活動への協力意向

市民アンケート

- ✓ 生息地づくりの市民活動**58%**
 - 学びや遊びから生息地保全**69%**
 - 生息地保全のための募金・基金**66%**
- ✓ 生息地拡大を**期待**する人はより協力的



謝 辞

ご指導頂いた先生及びご協力頂いた方々に御礼申し上げます

帯広畜産大学畜産生命科学研究部門

帯広畜産大学畜産生命科学研究部門

帯広畜産大学畜産生命科学研究部門

NPO法人タンチョウ保護研究グループ

NPO法人タンチョウ保護研究グループ

アーク コーポレーション株式会社

一般財団法人十勝エコロジーパーク財団

アンケートにご協力して下さった皆様

多くの御助言やご協力を頂きました野生動物ゼミの諸先輩

方と同期の学生諸氏

柳川久 教授

押田龍夫 教授

赤坂卓美 助教

百瀬邦和 氏

正富欣之 氏

室瀬秋宏 氏

伊藤眞實 氏

御清聴ありがとうございました

